

令和4年度第1回国有林モニター現地見学会の開催について

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けています。

東北森林管理局では、令和4年4月から2年間の任期として管内5県にお住まいの47名の方に国有林モニターにご就任いただき、国有林野事業について理解を深めていただいた上でご意見・ご提案をいただいています。

こうした取組の一環として、令和4年8月2日（火曜日）、岩手南部森林管理署の管内において、令和4年度第1回国有林モニター現地見学会を開催しました。

1. オボカ沢流域における治山工事

岩手県北上市和賀町岩崎新田字畑入山国有林において、オボカ沢第二治山工事を見学していただきました。

オボカ沢では、活発な地すべり活動が長年継続しており、多量の不安定土砂がオボカ沢を流下し、土砂災害が再三発生してきました。これらの流出土砂を抑止し、土砂災害を防止するため、大正期から治山工事を施工してきました。

見学会では、既設の鋼製枠床固工と事前にドローンで撮影したオボカ沢流域の上空からの映像をご覧いただきながら、オボカ沢流域における地すべり防止工を説明しました。



地すべり防止工の見学



オボカ沢流域の上空からの映像

2. 岩手南部森林管理署の管内概要

夏油高原スキー場において、岩手南部森林管理署の管内概要を説明しました。

当初は、近くの入畑ダムから国有林を遠望しながら説明を行う予定でしたが、悪天候のため、急遽、室内会場へ変更しました。

岩手南部署管内国有林の特徴や森林の整備、保全管理など様々な取組について、説明しました。



管内概要の説明